



ニュース 環境 NEWS

2021年2月号 (No. 11)

環境清掃課
〒443-0105
西浦町口田土1番地
TEL 0533-57-4100
FAX 0533-57-3924

今回のテーマ

はじめよう
エコモビリティライフ

蒲郡市では地球温暖化防止対策に向けた取り組みとして、市民一人ひとりが地球温暖化問題に対する関心を高め、環境にやさしい行動をとっていただけるように、地球温暖化対策に関する様々な情報を、「環境NEWS」として月1回発行してまいります。

モータリゼーション

モータリゼーション(motorization)とは、翻訳すると「動力化」「自動車化」となり、つまり「自動車の大衆化」を意味します。わが国では、高度経済成長期後半に急速に自動車の普及が進み、現在では世帯当たりの普及台数が1を超えており、いわゆる「一家に1台」の状態となっています。

愛知県は「車社会」？

なかでも、特に愛知県は「車社会」であるといわれますが、実際はどのようなのでしょうか。右の表は、都道府県別「乗用車」の保有台数ランキングで、最新のデータは令和2年10月末現在のものです。この表からわかるように、愛知県は乗用車の保有台数が全国一の都道府県で、2位の埼玉県よりも約100万台も多いことがわかります。愛知県は「車社会」であるといえるでしょう。

乗用車保有台数上位5位(都道府県別)

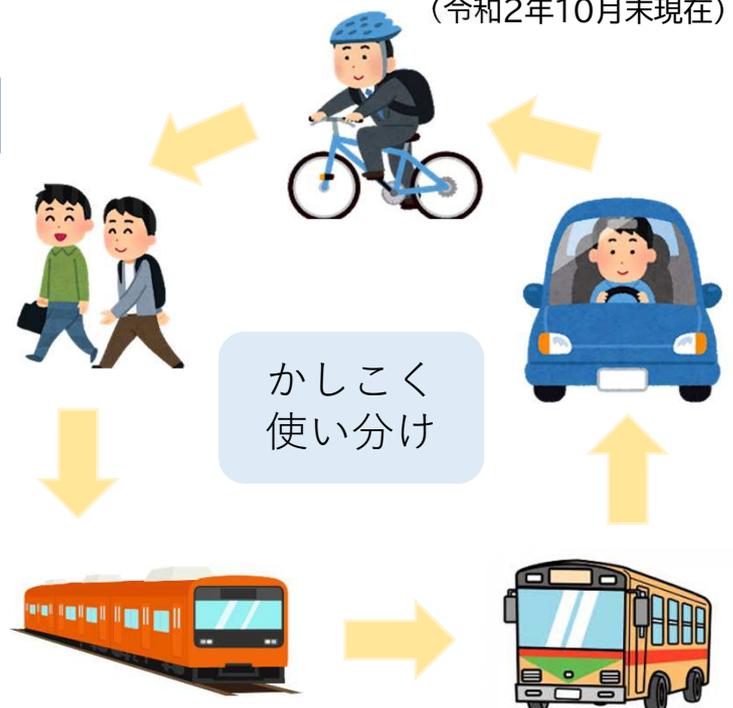
順位	都道府県	台数(台)
1	愛知県	4,219,718
2	埼玉県	3,231,555
3	東京都	3,142,813
4	神奈川県	3,067,155
5	大阪府	2,801,663

一般財団法人 自動車検査登録情報協会調べ
(令和2年10月末現在)

「エコモビリティライフ」とは

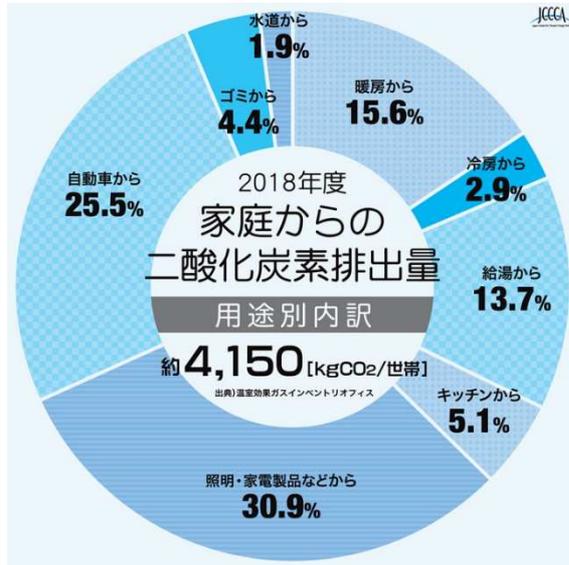
確かに自家用車は便利ですが、過度な利用によって交通渋滞や交通事故の原因になります。また、自家用車から排出される温室効果ガスが地球温暖化へ大きな影響を与えていることは周知のとおりです。そこで、日々の生活に「エコモビリティライフ」という運動が行われています。

「エコモビリティライフ」(通称エコモビ)とは、「環境(エコロジー)」の「エコ」、「移動」の「モビリティ」、「生活」のライフをつなげた言葉です。自家用車と公共交通機関、自転車、徒歩などをかしこく使い分け、環境にやさしい交通手段を利用するライフスタイルをいいます。

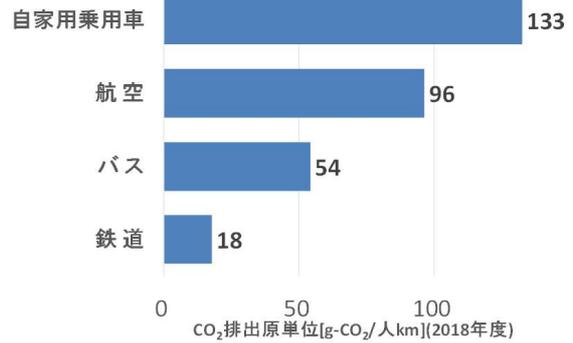


車から排出される二酸化炭素

右の図は、人を1km運ぶのに排出される二酸化炭素量を、乗り物別に表したものです。自家用車はバスの約2.5倍、鉄道の約7.4倍もの二酸化炭素を排出します。



輸送量当たりの二酸化炭素の排出量(旅客)



※温室効果ガスインベントリオフィス:「日本の温室効果ガス排出量データ」、国土交通省:「自動車輸送統計」、「航空輸送統計」、「鉄道輸送統計」より、国土交通省 環境政策課作成

出典: 国土交通省ホームページ

家庭から排出される二酸化炭素のうち、自動車からによるものが25.5%を占め「照明・家電製品など」に次いで二番目の割合となっています。地球温暖化の防止には、車から排出される温室効果ガスの削減がカギとなっているといえます。

出典: 全国地球温暖化防止活動推進センター

愛知県・蒲郡市の取り組み

愛知県では、あいちエコモビリティライフ推進協議会が中心となり、毎月第1水曜日を「エコモビの日」と定め、県民運動としてエコモビを推進しています。また、より一層エコモビを実践していただくため、「エコモビ実践キャンペーン」「県内一斉エコ通勤デー」等を設け県民の皆様呼びかけを行っており、より多くの方々にエコモビを実践していただくため情報を発信しております。

蒲郡市も愛知県の取り組みに倣い、同様に毎月第1水曜日を「エコモビの日」とし、「エコモビの日」が含まれる週に徒歩や自転車、公共交通機関を利用して出勤する取り組みを行っています。また、愛知県が主催する「エコモビ実践キャンペーン」、「県内一斉エコ通勤デー」に参加しエコモビに取り組み、市内事業所にもエコモビを推進しています。



出典: 愛知県

はじめよう「エコモビリティライフ」

あなたも、地球環境のため、健康のためにまずは月に1日からエコモビを始めてみませんか？

愛知県のエコモビのホームページはこちら

<https://www.pref.aichi.jp/kotsu/ecomobi/index.html>